

バイタル連携アプリ

通常計測画面の利用方法

通常バイタル計測機能

1. 右上サイドメニューを開き、
「通常計測」をタップします。



2. 画面が表示されたら、
自動連携機能が有効になっているかを確認します。



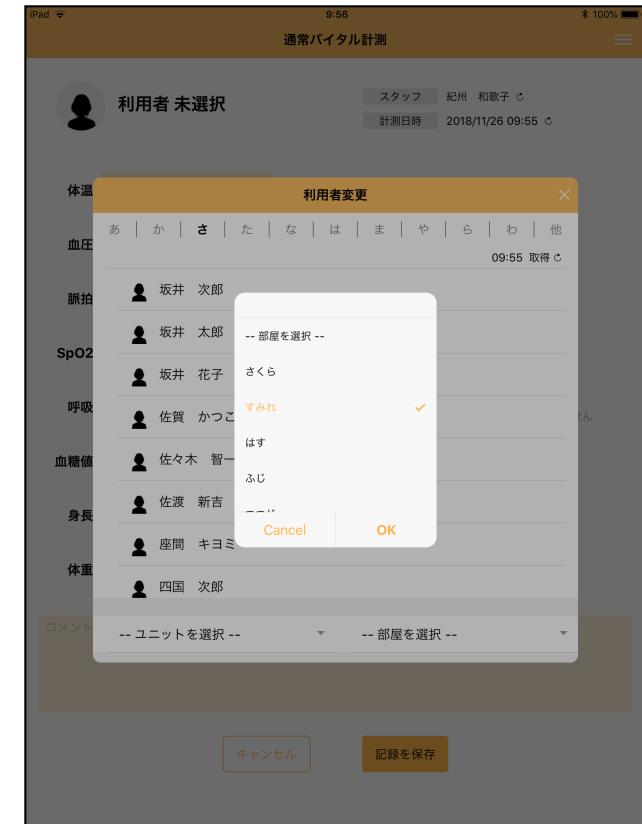
※ 「通常バイタル計測」の文字の下に
「Bluetooth検索中…」という文言が
表示されているとデータ受信が可能な状態です。

※ 端末のBluetooth設定を必ずONにして下さい
※ 1台以上ペアリング設定を実施していないと、Bluetooth通信は実施されません。

《利用者を変更する》

3. 利用者を変更する場合は、
利用者名周辺をタップします。

4. 計測したい利用者様の名前をタップすると、計測画面に利用者様の情報が反映されます。必要に応じて「五十音順」や「ユニット」「部屋」などの情報で絞り込みを行って下さい。



[注意事項]

- ・利用者様の情報は、一度最新データを取得すると数分間端末にキャッシュデータとして保持されます
- ・利用者情報を更新したのに画面上に反映されない場合には、データ取得時間横のリロードマークをタップして下さい
※ サンプル画面の例だと、「09:55 取得」の部分をタップして下さい

《スタッフや計測日時を変更する》

5. スタッフを変更する場合は、
スタッフ名横のマークを
タップします。



6. 変更したいスタッフのお名前をタップし、反映するボタンを押すと
スタッフの情報が反映されます。計測日時を変更したい場合は
「時間変更」タブを選択肢、計測日時の変更を行って下さい。



[注意事項]

- ・スタッフの情報は、一度最新データを取得すると数分間端末にキャッシュデータとして保持されます
- ・スタッフの情報を更新したのに画面上に反映されない場合には、データ取得時間横のリロードマークをタップして下さい
※ サンプル画面の例だと、「09:45 取得」の部分をタップして下さい

《Bluetoothによる自動計測》

7. 体温計や血圧計などのバイタル機器の電源をONにし、バイタルの計測を行います。

計測完了後、数秒～数十秒程度でタブレットの画面に、自動で計測したバイタルデータが連携されます。

表示されたバイタルを確認後、「記録を保存」ボタンを押して、データの保存を行ってください。



端末により差異はありますが、バイタルを測定すると
「ピー」という音とともに  Wi-Fiマークや通信マークが出現し、
データを端末へ自動送信します

《直接入力で記録する場合》

8. 通信機能付き計測機器を利用せずに、直接バイタルデータやコメントを入力することも可能です。計測したいデータをタップすると（例：体温）、右側に入力フォームが表示されるので、数値を入力して矢印ボタンをタップします。

朝日 大作

スタッフ 紀州 和歌子

計測日時 2018/11/26 09:49

体温	35.5	(°C)
血圧	/	(mmhg)
脈拍		(回)
SpO2		(%)
呼吸		(回)
血糖値		(mg/dL)
身長		(cm)
体重		(kg)

コメントを記入

キャンセル 記録を保存

朝日 大作

スタッフ 紀州 和歌子

計測日時 2018/11/26 09:49

体温	35.5	(°C)
血圧	/	(mmhg)
脈拍		(回)
SpO2		(%)
呼吸		(回)
血糖値		(mg/dL)
身長		(cm)
体重		(kg)

34.0 ~ 42.0 の間で入力して下さい。

1 2 3 AC
4 5 6
7 8 9
0 .

コメントを記入

キャンセル 記録を保存

参考) Bluetooth通信にて計測後にタブレットへ連携されるまでの時間の目安

■ バイタル機器ごとの計測時間の整理

【注意事項】

- ・ブライト・ヴィー社単独調査（各メーカー様は、調査に関して一切関係がありませんので非公式の情報となります）
- ・計測場所や通信状況などの環境や計測対象者の特徴によって、計測時間は変化するため、あくまで目安の計測時間としてください

【計測方法】

- ・バイタル機器の画面に値が表示されてから、タブレットにデータが表示されるまでの時間を計測しています

（バイタル機器の特性により、画面に値が表示されてから通信が始まるまでに時間がかかるものもあるが、視覚的な時間で計測を実施）

- ・計測対象者は、40代男性と50代女性の2名を対象に、5回ずつ計測した平均値を算出

種類	メーカー	型番	目安時間	平均連携時間（病）	補足
体温計	A&D	UT-201BLE / UT-201BLE PLUS	約5~10秒	8.23	
血圧計（上腕式）	A&D	UA-651BLE PLUS / UA-651BLE PLUS	約4~8秒	5.31	
体温計	NISSEI	MT-500BT / MT-550BT	約4~8秒	5.13	
血圧計（手首式）	NISSEI	WS-M50BT	約4~8秒	3.74	
血圧計（上腕式）	NISSEI	DS-S10M	約5~10秒	6.70	
パルスオキシメーター	NISSEI	BO-750BT	約4~8秒	4.15	
血圧計（手首式）	OMRON	HEM-6233T	約10~15秒	13.03	血圧計の空気が抜けてからデータ連携が開始されるため、計測後すぐに血圧計を取り外せば連携時間を少し短縮可能
血圧計	OMRON	HCR-7501T	約5~10秒	6.94	
パルスオキシメーター	OMRON	HPO-300T	約4~8秒	4.41	

【簡易整理】

- ・バイタル機器に値が表示されてから、おおよそ「5~10秒」程度でタブレットの画面に表示される
- ・バイタルを計測する通信環境によっては、もう少し時間がかかる場合もありますので、ご注意ください
- ・OMRON HEM-6230 の手首式血圧計は、機器の特性上、タブレットに値が表示されるまで他の機器より5秒程度時間がかかる点にご注意ください

FAQ

計測機器とのデータ連携でおかしいなと思ったら

うまくBluetooth連携が出来ないと思ったら 1

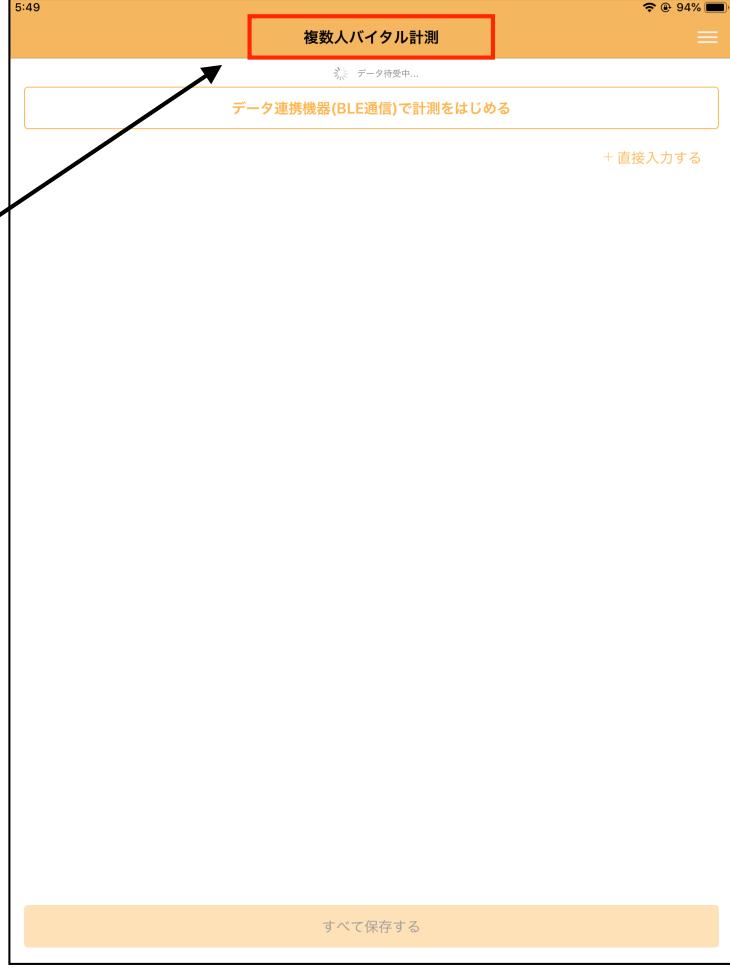
計測終了後、数秒待ってもデータが連携されない場合は、iOSデバイスと計測機器との間で通信が失敗している可能性があります。このような事象が発生した場合、下記方法にて、手動通信のリトライを行い、状況が改善されるかお試し下さい。

【Bluetooth通信リトライ処理 実行方法】

計測画面のヘッダーに表示されているタイトルをタップしてください



通常計測画面の場合



複数人計測画面の場合

うまくBluetooth連携が出来ないと思ったら 2

体温計や血圧計などの計測機器は、**基本的に1台の端末としかペアリングを行うことが出来ません。**

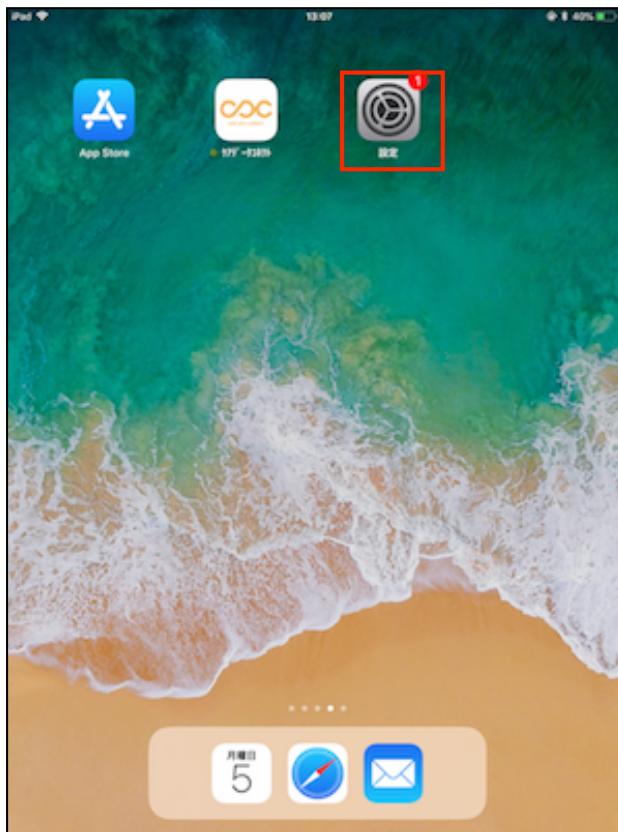
そのため、例えば「iPad A」と体温計Aをペアリングした後に、「iPad B」と体温計Aをペアリングしてしまった場合、

「iPad A」では体温計の計測したデータを受信することは出来なくなります。

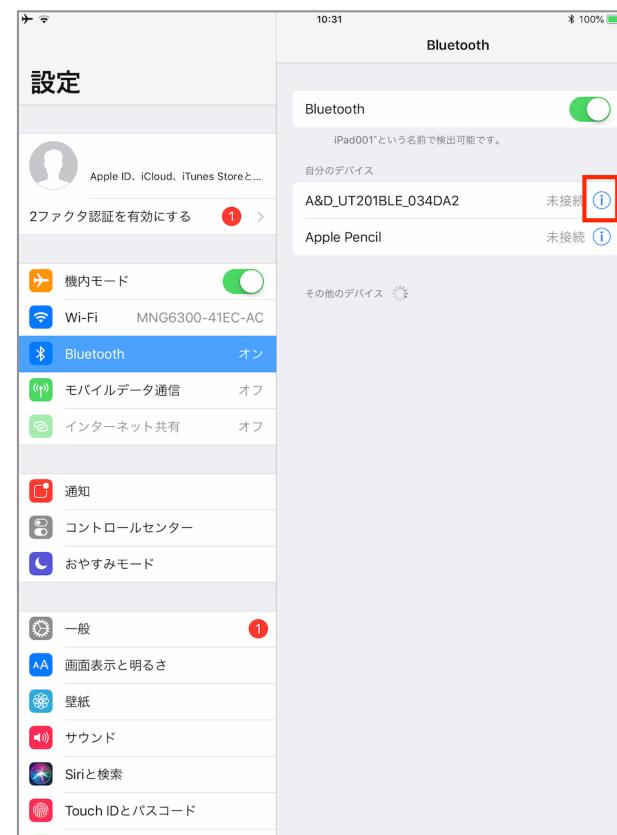
この場合、「iPad A」側で再度体温計とペアリングを実施する必要があります。

【ペアリングをやり直す方法】

① 「設定アプリ」を開きます



② Bluetooth > 「自分のデバイス」欄の対象のデバイスの「i」をタップします



③ 「このデバイスの登録を解除」をタップしペアリングを解除します



④ 再度ペアリングを実施して下さい。